

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 17 日(2022.1.17)

【公開番号】特開 2020-111024(P2020-111024A)

【公開日】令和 2 年 7 月 27 日(2020.7.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-029

【出願番号】特願 2019-5477(P2019-5477)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/30(2006.01)

B 3 2 B 27/12(2006.01)

D 0 6 N 3/06(2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/30 1 0 1

B 3 2 B 27/12

D 0 6 N 3/06

10

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 1 月 6 日(2022.1.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基布、及び、

基布上に形成され、重合度が 1 6 0 0 ~ 3 0 0 0 の塩化ビニル樹脂と、前記塩化ビニル樹脂 1 0 0 質量部に対し、3 質量部 ~ 2 0 質量部のシリコン / アクリル共重合体と、を含む塩化ビニル樹脂表皮層を有し、

前記基布と前記塩化ビニル樹脂表皮層との間に、接着剤層の少なくとも 1 層を有する合成樹脂表皮材。

【請求項 2】

前記塩化ビニル樹脂表皮層の、基布側とは反対側の面に、架橋構造を含む耐摩耗性層を有さない請求項 1 に記載の合成樹脂表皮材。

【請求項 3】

前記基布と前記塩化ビニル樹脂表皮層との間に、発泡樹脂層を有する請求項 1 又は請求項 2 に記載の合成樹脂表皮材。

【請求項 4】

前記基布と前記塩化ビニル樹脂表皮層との間に、前記基布側から接着剤層及び発泡樹脂層をこの順に有する、請求項 3 に記載の合成樹脂表皮材。

【請求項 5】

前記発泡樹脂層は、塩化ビニル樹脂を含む請求項 3 又は請求項 4 に記載の合成樹脂表皮材。

【請求項 6】

重合度が 1 6 0 0 ~ 3 0 0 0 の塩化ビニル樹脂と、前記塩化ビニル樹脂 1 0 0 質量部に対し、3 質量部 ~ 2 0 質量部のシリコン / アクリル共重合体と、を含む塩化ビニル樹脂表皮層形成用組成物を用いて、塩化ビニル樹脂表皮層を形成する工程と、

前記塩化ビニル樹脂表皮層の、基布と接着させる側に、発泡剤と樹脂とを含有する発泡樹脂層形成用組成物層を形成し、前記塩化ビニル樹脂表皮層と発泡樹脂層形成用組成物層と

20

30

40

50

の積層体を形成する工程と、

加熱により、前記発泡樹脂層形成用組成物中の発泡剤を発泡させ、発泡樹脂層を形成する工程と、

前記塩化ビニル樹脂表皮層の基布と接着させる側に設けられた発泡樹脂層の、前記塩化ビニル樹脂表皮層側とは反対側の面に、基布を接着する工程と、

を有する合成樹脂表皮材の製造方法。

【請求項 7】

前記基布を接着する工程が、前記発泡樹脂層形成用組成物層と基布との間に接着剤層を設ける工程を含む、請求項 6 に記載の合成樹脂表皮材の製造方法。

10

20

30

40

50